



戀心

中世フランスの恋の歌 さまざまに

2018年5月30日(水)

19:30開演 (19:00開場)

伊丹市立伊丹郷町館

重要文化財 旧岡田家住宅・酒蔵にて
(JR伊丹駅から徒歩約6分、阪急伊丹駅から徒歩約9分)

入場料) 前売 2,000円 当日 2,500円 (全席自由)

「大阪中世まつり」(5月25~27日開催)のコース参加者は 500円割引 となります。詳細は裏面をご参照ください。

主催) 伊丹市立伊丹郷町館 [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/伊丹市]

企画) 坂本音楽スタジオ

WEB) <https://sakamochi.jp/20180530.html>

予約・問合せ) 伊丹市立伊丹郷町館

兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28 ☎072-772-5959

10:00-18:00 月曜休館 (祝休日の場合は翌日)

※駐車場はございません。車でお越しの際は宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。

※会場は文化財のため空調設備がございません。調節のできる服装でお越しください。

演奏 レ・リュリヤーズ

ブリス・ラモンダンク 歌、ギテルヌ

佐々木ひろ子 歌

坂本卓也 ヴィエール (中世フィドル)



14世紀から15世紀にかけての中世後期、マシヨールを中心としたアルス・ノヴァから、バンショワが活躍したブルゴーニュ楽派にかけての「恋の歌」をあつめました。古いフランス語で歌われる「恋の歌」は、淑女への愛を誓う歌から、実らぬ恋を自虐する歌、愛するほどに苦しくなる胸の内を語る歌など、思いはさまざま。フランスから招いた中世音楽のスペシャリスト ブリス・ラモンダンク氏率いる、歌と絃のアンサンブルが、初夏の郷町館の夜、恋の諸相をうたいあげます。

主な演奏曲目

G. de マシヨール

《ならぶものなき美よ》《愛しい人の心には毒蛇が》《運命に不満と賞賛を》《愛しい人よ、目を向けなさい》

G. de バンショワ 《悲しき悦び》

P. des モラン 《愚かな考えがしばしば》

演奏者のプロフィール



ブリス・ラモンダンク(歌、ギテルヌ)

ギタリストとして音楽の勉強をはじめ、民族音楽からメタルロックまで幅広いスタイルに精通。モンペリエ大学にてG. クレマンの指導で音楽学学位を取得、中世音楽に傾倒する。器楽奏者、歌手としてB. レーヌ、M. ペレス、D. ヴェラルの各氏らのもとで研鑽を積む。

2013年にヴォーカル・アンサンブル「Hortus Deliciarum」を立ち上げ、フランス国内で40回を超えるコンサートを実現。各地の中世フェスティバルで演奏している。

2014年よりパリ国立高等音楽院にてエクリチュールを専攻、R. ピカゾス氏のもとで中世の即興、記譜法、対位法を学ぶ。

14世紀の宗教曲に明るく、現在、Codex d'Apt、バルセロナ・ミサ各出版譜を準備中。



佐々木ひろ子(歌)

宮城県出身。現在は西日本を中心に宗教曲のソリスト等、古楽・アンサンブル分野での演奏活動を行う。エリザベト音大附属エリザベトシンガーズ正団員。World Youth Choir/Asia Youth choir日本代表。独自の身体テクニックを取り入れたボイストレーニングを各地で行い、様々な合唱団のボイストレーナーを務める。合唱コンクール全国大会金賞団体のボイスコーチを担当するなど、声の指導実績は1000人を超える。

2018年7月19日(木)夜に豊中市芸術文化センターにてリサイタルを開催予定。宮城教育大学生涯教育総合課程声楽卒業。仙台オペラ協会研究生修了。声楽を広瀬奈緒、高橋絵里、波多野睦美の各氏に、合唱指揮を松原千振氏に師事。

<http://www.sasakihiroko.com/>



坂本卓也(ヴィエール(中世フィドル))

ヴィオラ、バロック・ヴァイオリンを大津睦、J. -Ph. ヴァッサールの各氏に師事。また、バロック・ヴァイオリンをL. v. ダール、E. ガッティ、A. タンピエーリの各氏に、中世音楽理論をルドン絢子氏に学ぶ。

ヴィエール(中世フィドル)、バロック/モダン/エレクトリック・ヴァイオリン、ヴィオラを自在に持ち替え、中世、初期バロック、クラシックからポピュラー曲、昭和歌謡まで、幅広く演奏活動を行っている。

管理人を務める「坂本音楽スタジオ」では、大人のアマチュア奏者や身体にトラブルを抱える演奏家のためのメソッドでの指導に力を入れているほか、関西で類を見ない中世音楽の理論講座やアンサンブル・レッスンを開講し、中世音楽がかかわるさまざまなイベントを企画している。日本中世フィドル協会大阪支部長。

<https://sakamochi.jp/>

大阪中世まつり

嗚呼、憧れの中世ヨーロッパ
遠く日本からの戀ひ焦がれる想いを胸に
音楽、楽器製作、裁縫、遊戯を体験する三日間



「大阪中世まつり」は、中世音楽の本格的なレッスンを中心とした、中世ヨーロッパ文化、中世ファンタジーを愛する方のための体験型イベントです。

- ・ブリス・ラモンダンク先生による集中した中世音楽レッスンと、発表会での実践体験
- ・中世音楽の理論講座、中世の楽器紹介、講演会『14世紀フランスの抒情詩』
- ・中世の弦楽器「ルベック」を模した中世(風)楽器「ルベック杭」の製作(木工)
- ・中世の胴衣「シュルコ」の製作(裁縫)
- ・テーブルトーク・ロールプレイング・ゲーム(TRPG)セッション(初心者導入ガイダンスあり)
- ・中世&ファンタジーの衣装や雑貨がならぶマーケット

開催はコンサート前の週末、5月25日(金)～27日(日)、大阪市立東成区民センターにて。


大阪中世まつりに5月20日までにお申し込みいただき、コース(①～⑦)にて参加されると、当コンサート「戀、さまざまに」に500円割引でご入場いただけます。(まつりの名札をご持参ください)

一足早く中世ヨーロッパ文化に触れ、コンサートをさらに深く楽しみませんか?

大阪中世まつりの詳細についてのお問い合わせ、お申し込みは、坂本音楽スタジオまでどうぞ!

主催・運営)坂本音楽スタジオ

https://sakamoto-music-studio.jp/festus_medii_aevi_osakae.html

✉ sakamoto.music.studio.osaka@gmail.com  [@sakamotomusicst](https://twitter.com/sakamotomusicst) ☎ 090-4492-8765

